

40呎の長い布に思い思いの色を付ける子どもたち

高津区の市子ども夢パーク



「世界に一つ」自分の色

子どもたちが野染め挑戦

高津区

子どもたちが屋外で大きな布を染める「野染め」のイベントが17日、川崎市高津区の市子ども夢パークで

開かれた。同パークを運営するNPO法人「フリースペースたまりば」の主催。同スペースに通う子ども

や近くに住む幼児ら約50人が参加。京都に工房を構える染色家斎藤洋さん(64)の指導を受け、長さ約40呎、幅約1呎の白い木綿の野染めに挑戦。子どもたちは、はけを使って赤や青、緑など水性の染料で思い思いの色を付けていった。染め上げた後は、乾く前に和紙や白い無地のトートバッグなどに色を写した。

横浜市に住む小学6年生

の女子児童(12)は「色が混ざって変わっていくのが面白かった。世界に一つしかない色を出せてうれしい」と笑顔だった。

布はアクリル液に半日漬けて色を定着させ、子どもたちがバッグやタペストリーなどに加工する。

(鴻谷 創)